



Title	本研究会の活動（2019年4月～2019年9月）
Author(s)	
Citation	詞林. 2019, 66, p. 53-53
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/73622">https://hdl.handle.net/11094/73622</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

本研究会の活動（2019年4月～2019年9月）

第297回 4月27日（土）

— 記紀に描かれた兄弟

— 〈末子成功譚について〉—

『徒然草』に描かれた「入道」について

賢木巻・野宮のわかれ再考

— 典拠としての『うつほ物語』俊蔭巻—

川上 莉奈  
徐 永林

後藤 京

第300回 9月21日（土）

光源氏論

— その「心長さ」の両義性をめぐって—

深川本狭衣物語（巻一）から本文研究を見つめなおす

小林 理正

後藤 京

第300回記念イベント

▼テーマ：院生時代とキャリア形成を振り返る

○奈良大学

○就実大学

○天理大学附属天理図書館

松本 大

瓦井 裕子

宮川 真弥

第298回 6月15日（土）

『うつほ物語』における賜姓源氏について

藤原行成和歌不得手に関する文章の考察

— 『枕草子』「職の御曹司の西面の立部のもとにて」段における〈歌〉を〈うたふ〉という表現について—

中村 麻耶

中山 紗恵

『蜻蛉日記』上巻の長歌の考察

第299回 7月27日（土）

異類婚姻譚における『木幡狐』

— 和歌素材としての異類とお伽草子—

『文集百首』における定家の詠歌方法について

— 句題の一部の文字を和歌に詠まない場合に注目して—

大野 暖奈

黄 夢鶴

蒲 姣艶

貫之集における「すれる衣」の一側面

蒲 姣艶